



暑熱対策を行いましょう！

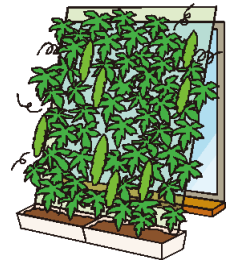
今年は梅雨入り前から真夏のような天気に見舞われています。気象庁によると今年の夏は「平均気温は高めの確率50%、降水量は平年並みまたは多い確率ともに40%」と予想されています。真夏の鶏の体力低下を少しでも減らすために、効果的な暑熱対策に取り組みましょう！



鶏舎の環境改善

《外からの熱を防ぎ、鶏舎内の温度上昇を防ぎましょう》

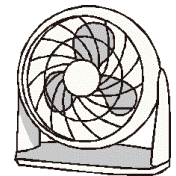
- 屋根や壁に断熱材を設置し、白色ペンキや石灰を塗布する。
- 屋根にパイプ・スプリンクラーを付けて、散水する。
- 寒冷紗や緑のカーテンで直射日光を遮断する。
- こまめに除糞を行い、鶏舎内の発酵熱を減らす。
- 周囲の下草を刈り、不要な物を片付けて風通しを良くする。



鶏の暑さ対策

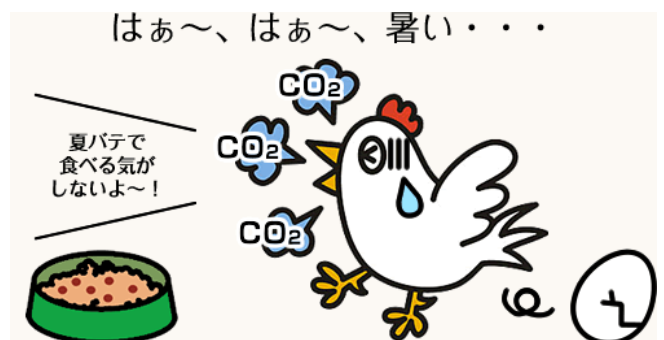
《鶏の体感温度を下げ、ビタミンを投与し、体力をつけましょう》

- 送風：扇風機・ダクトの送風で換気をよくし、体感温度を下げる。
（特に一日の暑さがこもる夕刻～夜間の送風は有効）
- 散水：湿度の低い日は細霧装置で散水する。
- 給餌：早朝や夕方の涼しい時間帯に採食させる。（肉用鶏では昼間の絶食も有効）
- 給水：ニップルドリンカーは一日に数回末端を解放し、水温を低く保つ。
- 飼料添加：不足しがちなビタミン、ミネラルを投与する。



緊急時の対策(35度を超えたら)

鶏は汗をかかないので、暑いときは口を開けて呼吸をすること（パンティング）によって体温を調節します。ところが、ひどくなると過呼吸をおこし、血液がアルカリ性になってしまいます。そこで、重曹を水や餌に0.5～0.7%の割合で混ぜることで調節します。対策をしても熱射病が発生してしまった時は、緊急対応として直接鶏に水をかけて冷やします。



ご不明な点は当所までお問い合わせください。

京都府丹後家畜保健衛生所 与謝郡与謝野町字下山田616

TEL 0772-43-1125（夜間・休日もつながります）

FAX 0772-43-1124